

# 環境活動レポート

2018年度版

活動期間：2018年3月～2019年2月



(発行日 : 2019年10月10日)

有限会社 木更津清掃社

## 1. 組織の概要

(1) 事業所及び代表者名

会社名：有限会社木更津清掃社

代表者：高橋 幹雄

(2) 所在地

本社：〒292-0002 千葉県木更津市中野143番地

(3) 法人設立年月日

昭和 48年 02月 28日

(4) 資本金

300万円

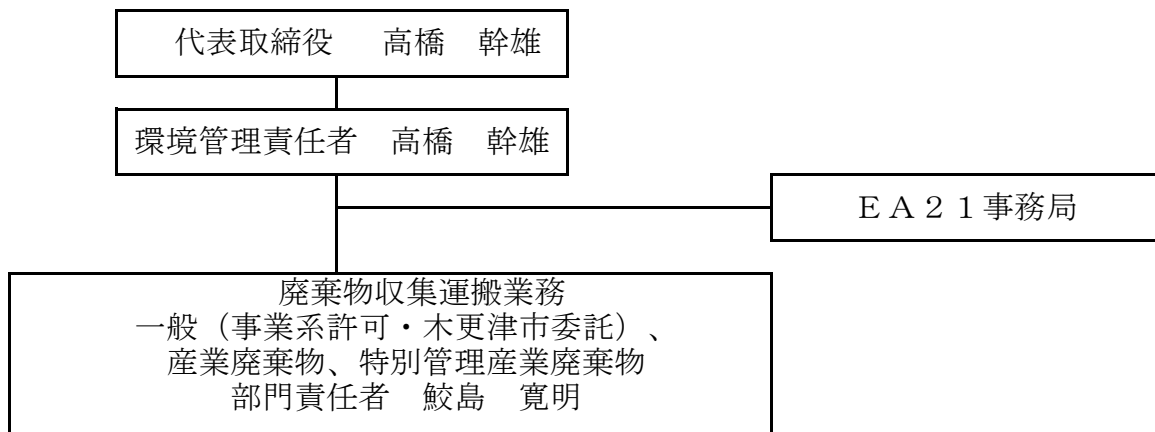
(5) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者：代表取締役 高橋 幹雄

担当者連絡先：千葉県木更津市中野143番地

(電話) 0438-40-1111 (F A X) 0438-41-2121

(6) 組織図



(7) 役割・責任

代表取締役・環境管理責任者：環境方針の決定。EA21の見直し。  
必要な経営資源の投入環境経営システムの確立・実施・維持。

部門責任者：EA21活動報告及び結果の報告。

(8) 対象範囲（認証・登録範囲）

事業所名：有限会社木更津清掃社

対象事業所：本社

事業活動：一般廃棄物収集運搬業

産業廃棄物収集運搬業

特別管理産業廃棄物収集運搬業、貨物自動車運送事業

(9) 事業の規模 2018年度（2018年3月1日から2019年2月28日）

・売上高（百万円）	465
・従業員（人）	39
・敷地面積（㎡）	2,225
・事務所面積（㎡）	210
・駐車場面積（㎡）	3,000

(10) 産業廃棄物業の許可内容

2019年9月30日現在

収集運搬業

許可行政	千葉県	東京都	神奈川県	埼玉県
許可番号	01200031505	01300031505	01400031505	01100031505
許可取得年月日	平成27年7月9日	令和元年8月23日	平成31年4月12日	平成31年3月14日
許可有効年月日	令和2年7月8日	令和8年8月22日	令和8年1月28日	令和7年12月19日
燃え殻	●	●	●	●
汚泥	●	●	●	●
廃油	●	●	●	●
廃アルカリ	●	●	●	●
廃プラスチック	●	●	●	●
紙くず	●	●	●	●
木くず	●	●	●	●
繊維くず	●	●	●	●
動植物性残さ	●	●	●	●
ゴムくず		●		●
金属くず	●	●	●	●
ガラスくず	●	●	●	●
鉱さい	●	●	●	●
がれき類	●	●	●	●
動物のふん尿		●		
動物の死体		●		
ばいじん	●	●	●	●
政令13号物		●		

特別管理産業廃棄物 収集運搬許可

許可行政	許可番号	許可取得年月日	感染性産業廃棄物	廃油	廃酸	廃アルカリ	特定有害産業廃棄物
		許可有効年月日					
千葉県	01250031505	平成27年7月9日	●	●	●	●	●
		令和2年7月8日					
東京都	01350031505	令和元年8月23日	●	●	●	●	●
		令和8年8月22日					
神奈川県	01400031505	平成31年4月12日	●	●	●	●	●
		令和8年1月28日					
埼玉県	01150031505	平成31年3月14日	●	●	●	●	
		令和7年12月19日					

※廃油（揮発油類、灯油類及び軽油類に限る）

※廃酸（pH2.0以下のものに限る。）

※廃アルカリ（pH12.5以上のものに限る）

※特定有害産業廃棄物

ア. 廃石綿等

イ. 金属等を含む特定有害産業廃棄物[別表のとおり]

\* 下記、専用容器等により飛散防止を確実にしております。



感染性医療廃棄物容器



オープンドラム

特定有害産業廃棄物 別紙

廃棄物名 有害物質	鉍さい	ばいじん	燃え殻	廃油	汚泥	廃酸	廃アルカリ
水銀又はその化合物	東	東			千・東・神	千・東・神	千・東・神
アルキル水銀化合物					千	千	千
カドミウム又はその化合物	東	東	東		千・東・神	千・東・神	千・東・神
鉛又はその化合物	東	東	東		千・東・神	千・東・神	千・東・神
有機燐又はその化合物					千・東・神	千・東・神	千・東・神
六価クロム化合物	東	東	東		千・東・神	千・東・神	千・東・神
砒素又はその化合物	東	東	東		千・東・神	千・東・神	千・東・神
シアン化合物					千・東・神	千・東・神	千・東・神
PCB							
トリクロロエチレン				千・東・神	千・東・神	千・東・神	千・東・神
テトラクロロエチレン				千・東・神	千・東・神	千・東・神	千・東・神
ジクロロメタン				千・東・神	千・東・神	千・東・神	千・東・神
四塩化炭素				千・東・神	千・東・神	千・東・神	千・東・神
1, 2-ジクロロエタン				千・東・神	千・東・神	千・東・神	千・東・神
1, 1-ジクロロエチレン				千・東・神	千・東・神	千・東・神	千・東・神
シス-1, 2-ジクロロエチレン				千・東・神	千・東・神	千・東・神	千・東・神
1, 1, 1-トリクロロエタン				千・東・神	千・東・神	千・東・神	千・東・神
1, 1, 2-トリクロロエタン				千・東・神	千・東・神	千・東・神	千・東・神
1, 3-ジクロロプロペン				千・東・神	千・東・神	千・東・神	千・東・神
チウラム					千・東・神	千・東・神	千・東・神
シマジン					千・東・神	千・東・神	千・東・神
チオベンカルブ					千・東・神	千・東・神	千・東・神
ベンゼン				千・東・神	千・東・神	千・東・神	千・東・神
セレン又はその化合物	東	東	東		千・東・神	千・東・神	千・東・神
ダイオキシン類		東	東				
1, 4-ジオキサン				神	神	神	神

※表記について 千：千葉県 東：東京都 神：神奈川県

(1 1) 施設等の状況 (収集運搬業)

・運搬車両の種類と台数

営業車、ガソリン車	4台			
小型塵芥パッカー車	12台	大型塵芥パッカー車	3台	
中型塵芥パッカー車	2台	大型ユニック車	3台	
小型アームロール車	3台	小型ダンプ車	1台	
中型アームロール車	2台	小型アルミバン車	1台	
大型アームロール車	2台			
		合計	31台	

(1 2) 一般廃棄物処理実績 (2018年3月1日～2019年2月28日)

- ・木更津市委託一般廃棄物 5,789 t
- ・受託一般廃棄物 3,137 t
- ・受託産業廃棄物 978 t

(1 3) 貨物自動車運送事業

- ・免許状 81東陸上2貨2第 912号 昭和56年6月5日 取得

### 3. 環境方針

#### <環境理念>

有限会社木更津清掃社は、地球温暖化や資源保護の問題を重要な課題と考え、積極的に社員一丸となって地球環境の保全と環境に係る社会貢献を目指した企業活動を推進してまいります。

又、環境活動及び事業活動を通じて、社員一同が常に向上心を持ち、互いに助け合い、自主的・積極的に環境の改善に取り組みます。

#### <行動指針>

1. 節電と、省エネルギー化を進めて、二酸化炭素排出量を削減し、地球温暖化の防止に努めます。
2. 省資源で仕事を進めるように努め、廃棄物の発生量を低減します。
3. 節水を進め、排水量を低減します。
4. グリーン購入を推進し、環境に配慮した調達を進めます。
5. 特定有害廃棄物の運搬に関する化学物質の飛散防止を徹底します。
6. 環境に関連する法規制・条例等を遵守し、環境配慮に努めます。

社内の要所に環境方針を掲示して、全従業員にエコアクション21環境経営システムを徹底します。

制定 2015年 8月 1日

改訂 2016年 2月 1日

有限会社 木更津清掃社

代表取締役社長 高橋 幹雄

## 4. 中期環境目標

### (1) 2018年度中期目標の見直し

項目	単位	基準年	2017年度 実績値	2018年度 見直し計画	中期計画
		2015年度			2019年度
電気使用量	kWh/年	25,269	29,135	+17%	▼3%
				29,718	24,511
ガソリン	ℓ/年	4,740	5,751	+23%	▼3%
				5,866	4,598
軽油	ℓ/年	149,220	165,644	+13%	▼3%
				168,957	144,743
CO <sub>2</sub> 排出量	kg-co <sub>2</sub> /年	416,003	464,370	+1%	▼3%
				473,657	403,523
水使用量	チェックシート	90	95	95	95
一般廃棄物排出量	kg/年	1,200	1,200	0%	▼3%
				1,200	1,164
一般廃棄物運搬量	t/年	14,345	14,568	+4%	+3%
				15,000	14,775
産業廃棄物運搬量	t/年	5,029	6,102	+23%	+3%
				6,200	5,180
特定有害産廃の 適正輸送	特定物の適正な 基準で管理。	問題0	問題0	問題0	問題0
グリーン購入	チェックシート	90	95	95	100

注1：電力のCO<sub>2</sub>排出係数は0.500 k g -CO<sub>2</sub>/ k Wh（東電、H27年度実排出係数）

注2：CO<sub>2</sub>排出量には灯油使用量は含まない

### (2) 2018年度目標値見直しの考え方

実績値の傾向を把握出来るまで、前年度実績を基に。次年度の取組を検討する。

- ①収集増量に伴い、電力使用量、ガソリン・軽油使用量共に、前年度の実績値の1%増とする
- ②水(井戸水)使用は、メーター未設置のため、チェックシートで活動を評価する。
- ③自社排出の一般廃棄物は、オフィスごみ主体のため、現状を維持する
- ④一般廃棄物収取運搬量は、受託増に向けた営業を強化する。  
次年度は4%の増量を目標とする
- ⑤産廃は2018年度までに2015年基準の23%増を目標に、次年度は前年度の2%の増量を目標とする。
- ⑤特定有害産廃の輸送は事故を目標に適正輸送に心がける

## 5. 主な活動内容とその結果(2018年度)

区分	項目	平成30年度の環境活動の取組施策	責任者	評価
二酸化炭素の削減	軽油・ガソリン使用量の削減	① 車両エコドライブ(アイドリングストップ)	収運	○
		② 社員へのエコドライブ教育	収運	○
		③ 燃費管理データ収集	収運	○
		④ 定期点検の徹底	収運	○
		⑤ デジタルタコメータによる安全・エコ運転監視	収運	△
	電気使用量の削減	① 節電告知ラベル貼付	本社	○
		② エアコン省エネ設定運転	本社	○
		③ 不必要照明消灯(減灯)	本社	○
		⑤ クールビズ・ウォームビズの展開	本社	○
		⑥ 節電製品・機器への切替	全社	○
		⑦ 高効率タイプ(LED)照明器具への切替	本社	○
		⑧ 冬場の電気暖房から灯油暖房への切替	本社	○
		水資源	地下水使用量の削減	① 節水の表示
① 適正散水実施	本社			○
③ 洗車水、散水の節約	収運			○
収集運搬量の拡大	一般廃棄物	① 収集運搬時の混合積載を極力少なくする	収運	○
		② 作業員への分別教育徹底による資源化率向上	収運	○
		③ 市役所を通じての市民への分別強化の依頼	収運	○
	産業廃棄物	① 金属類・廃プラ・木屑の分別回収による資源化	収運	○
		② 排出事業者への分別提案	収運	○
		③ リサイクルネットの整備・拡充	収運	○
		④ 優良リサイクル業者の紹介	収運	○
自社一般廃棄物の削減	① 紙類の分別回収と裏紙の積極使用	本社	○	
	② ビン・缶等の分別回収ボックスの適正配置	全社	○	
	③ 発生ごみは可能な限り、圧縮等を行い、減量する	全社	○	
グリーン購入他	① エコマーク文房具の購入拡大	全社	○	
	② 修理可能な製品の優先購入	全社	○	
	③ 事務所の5Sの徹底、	全社	○	
	④ 事業所周辺の環境や生き物の保全活動を行う	全社	○	

## 6. 取組結果とその評価（2018年度）

### (1) 取組結果

項目	単位	環境目標	実績値	達成率	コメント
電気使用量	kWh/年	29,718	29,261	101.6	夏（6～9月）は28°C、冬（12～3月）は24°C設定を維持した。
ガソリン	ℓ/年	5,866	5,934	98.9	社員への一層のエコドライブ教育が必要。
軽油	ℓ/年	168,957	143,819	117.5	効率的な収集のため、収集経路の見直しを図った。
CO <sub>2</sub> 排出量	kg-co <sub>2</sub> /年	473,657	424,354	111.6	CO <sub>2</sub> 排出量には、実績値&目標値とも灯油700ℓ/年を含む
水使用量 (井戸水)	チェックシート	95	95	100.0	主に生活用水に利用。メーター未設置のためチェックシート管理
一般廃棄物排出量	kg/年	1,200	1,200	100.0	分別の徹底を図った。裏紙はメモに利用。
一般廃棄物運搬量	t/年	15,000	15,227	101.5	近隣地域に大型店舗の進出により、事業系の一般廃棄物が増大。
産業廃棄物運搬量	t/年	6,200	1,544	24.9	当社にとって、A社の撤退により、減少した。
特定有害産廃の 適正輸送	問題発生0	問題0	問題0	100	受託の特管物は適正な基準で輸送管理した。
グリーン購入	チェックシート	95	90	94.7	現状調査の結果、グリーン商品購入率10%

注：電力のCO<sub>2</sub>排出係数は0.500 k g -CO<sub>2</sub> / k Wh（東電、H27年度実排出係数）

### (2) 取組結果の評価

- ①電力は夏場28°C、冬場24°Cの徹底により、無事に目標値を達成した。
- ②ガソリンは営業距離、顧客訪問回数の増加により、使用量が大幅に増加した。  
エコドライブ教育の徹底を図ると同時に、目標値の変更を検討する。
- ③軽油使用量は廃棄物収集経路の見直しで、目標値に何とか近づけた。
- ④自社排出の一廃は、分別の徹底を図り、裏紙はメモに利用した。
- ⑤一般廃棄物運搬量は、近隣地域に大型店舗の進出により、事業系の一般廃棄物が増大した。
- ⑥産業廃棄物運搬量は、A社の撤退により、達成できませんでした。
- ⑦特定有害産廃の輸送にあたっては、管理基準に従い慎重な手順で、無事故を達成した。



## 7. 次年度の取組

### (1) 2019年度中期目標値の見直し

項目	単位	基準年	2018年度 実績値	2019年度 見直し計画	中期計画
		2018年度			2019年度
電気使用量	kWh/年	29,261	29,261	▼1%	▼1%
					28,968
ガソリン	ℓ/年	5,934	5,934	+4%	+4%
					6,171
軽油	ℓ/年	143,819	143,819	+15%	+15%
					165,392
CO <sub>2</sub> 排出量	kg-co <sub>2</sub> /年	424,354	424,354	+2%	+2%
					432,841
水使用量	チェックシート	95	95	95	95
一般廃棄物排出量	kg/年	1,200	1,200	0%	▼1%
					1,200
一般廃棄物運搬量	t/年	15,227	15,227	+9%	+9%
					16,597
産業廃棄物運搬量	t/年	1,544	1,544	+33%	+33%
					5,095
特定有害産廃の 適正輸送	特管物の適正な 基準で管理。	問題0	問題0	問題0	問題0
グリーン購入	チェックシート	90	90	90	90

注1：電力のCO<sub>2</sub>排出係数は0.500 kg-CO<sub>2</sub>/kWh（東電、H27年度実排出係数）

注2：CO<sub>2</sub>排出量には灯油使用量は含まない

注3：2017年見直し計画における基準値は前年の2016年度とする。

### (2) 2019年度目標値見直しの考え方

実績値の傾向を把握出来るまで、前年度実績を基に。次年度の取組を検討する。

- ①電力使用量は実績値の1%削減とし、ガソリン・軽油使用量共に、前年度より大幅な増量と
- ②水(井戸水)使用は、メーター未設置のため、チェックシートで活動を評価する。
- ③自社排出の一般廃棄物は、オフィスごみ主体のため、現状を維持する
- ④一般廃棄物収取運搬量は、受託増に向けた営業を強化する。  
次年度は9%の増量を目標とする
- ⑤産廃は2020年度までに2018年基準の35%増を目標に、次年度は33%の増量を  
目標とする。
- ⑥特定有害産廃の輸送は事故を目標に適正輸送に心がける

## 8. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

- 当社に適用される主な環境関連法規を2018年3月1日に遵守評価した結果、これらの違反はありませんでした。
- なお、過去3年間、関係当局からの違反指摘及び近隣からの訴訟の、もありません。
- 当社に適用される主な環境法令は下記の通りです
  - \*廃棄物処理法            \*消防法                    \*道路交通法
  - \*浄化槽法                \*道路車両法                \*自動車NOX・PM法

## 9. 代表者による全体評価と見直しの結果

1年間の運用期間を振り返ってみると、取引先の増加及び作業量の増大により、環境目標の達成は厳しい。社員全体に役割を持たせ、経営環境の意識も徐々に向上している。

全員参加の意識を更に浸透させ成果を上げ、推進して行きます。

平成31年1月に木更津商工会議所様より、エコアクション21の環境経営システム構築により他社の模範となったことで、優良会員企業表彰を受けました。

以上